石桜同窓会報

石桜同窓会
盛岡市長田町
岩手高等学校内
印刷山口北州印刷㈱

平成15年度石桜同窓会
開催される

平成15年度の石桜同窓会総会は、10月17日㈮午後6時から盛岡市駅前のホテルメトロポリタン盛岡本館で開催された。

総会にはおよそ50名が出席、会務報告、決算、予算案が審議され、役員改選案も上程されて、原案通り可決した。

総会は事務局の川村康二先生（新24回）の司会で開会、村上照五郎（新2回）会長が登壇して挨拶した。

その中で母校の生徒数の減少から同窓会の財政状況に触れ、卒業生からも同窓会年会費の徴収も検討しなければならない時期に来ているのではないか。母校生徒のクラブ活動支援、一層の会員相互の親睦交流に努め、母校の繁栄に大いに寄与できる基盤を整える方針を強めたいと訴えた。

次いで来賓の岩手奨学会理事の遠藤貫中元校長（旧1回）は母校は今年創立77年を迎え、現校舎についても整備計画を立てる時期であると来賓挨拶の中で話した。また70周年記念事業として同窓会が寄贈したバス2台はクラブ活動を中心に有効に活用されている旨もつけ加えた。

遠藤奨学会理事

村上同窓会長

議長席には長谷川哲吾（新13回）氏が選ばれて着席後審議に入り、

㈠会務報告
㈡一般会計決算報告及び特別会計決算報告
㈢クラブ強化育成基金報告
㈣監査報告
㈤15年度事業計画案審議
㈥15年度一般会計予算案及び特別会計予算案審議
㈦役員改選審議

が上程され、役員は全員留任として原案通り可決された。

事務局　川村先生

長谷川議長

母校の現状報告をする菊地校長

懇親会参加者は約70名を数え、村上会長挨拶のあと、菊地治雄（新10回）校長はクラブの活躍、新卒の進路状況、生徒数の減少等の現況に触れ、入学者についての同窓生の応援を得たいと挨拶した。

乾杯の発声は柴内興昭（新3回）氏が行い、懇談に移った。中学生向けに作製の学校案内ビデオが上映され、また今回幹事役を勤めた新13回生の中から斎藤富夫ら3氏のバンド演奏で「マイウェイ」「スタンド・バイ・ミー」など7～8曲を披露、盛会裡に終了した。

明年は4、14、24、34回生等が懇親会の企画運営をする。

乾杯発声の柴内興昭氏

再選にあたり

石桜同窓会会長　村上　照五郎

去る10月17日の総会において、役員改選が行われ、会長、副会長、監事の全員が再選されました。なお一層、身を引き締めて頑張らなければならない思いで一杯です。

今年も母校の卒業式、入学式への列席をはじめ、東京、仙台を含めた各市町村の石桜同窓会、卒業年度別の学年会、職場別、大学別、クラブ別の石桜同窓会に、副会長と手分けして出席させていただきました。

それぞれの同窓会では大勢の卒業生の皆さんにお会いし、貴重なお話をうかがう機会に恵まれました。いずれの同窓の皆さんも、本当に母校思いの方々であり、常に母校の発展を望んでおられるということが強く伝わってまいりました。

同窓会での話題の多くは、公立高校の統廃合と私学との関連、母校のクラブ活動の状況などで、学校長や学校関係者が出席された折には、石桜新聞その他の資料等で説明がありました。また同窓会役員のみの出席の際には、私たちが分かる範囲で説明いたしました。

さて、石桜同窓会の目的は、会則の第三条にある「……母校の繁栄に寄与することを目的とする」に尽きるのであり、また、その運営手段は、第13条の経費の項にある、「（この会は）入会金・終身会費・寄付によって運営する」と明記されております。

しかし、昨今の少子高齢化は生徒数に影響があることは間違いのないことで、同窓会としても考えなければならない課題であると思います。

実際、70周年の折の寄付金は、中型バス二台の購入、クラブ強化育成基金、石桜会補助金の拠出、また校歌・応援歌のCD作成等に大いに貢献いたしました。しかし、会員各位に毎年、寄付をお願いするのも困難なところから、今後も母校支援の活動を十分にするためには、年会費（仮称）という形で納入をお願いできないものかという案が理事会で検討されたこともお知らせいたしておきます。

ちなみに市内の高校の同窓会規約を二、三拝見いたしましたが、すべてこの方式（年会費）を採用しているようです。ただし、石桜同窓会の場合は、これまで終身会費を納入していただいているので、その点との整合性を求めて現在検討中です。会員の皆さんの中に何か妙案があったらぜひお知らせいただきたいと思います。

以上のことを母校の発展のため、よろしくお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成14年度　クラブ強化育成基金　決算書

収入の部

項目	決算額(円)	備考
繰越金	2,259,805	
利息	53	
返戻金	3,000,000	生徒会CD売り上げから2,100,000(残債900,000) 特別会計から返戻900,000(残債なし)
合計	5,259,858	

支出の部

項目	決算額(円)	備考
教育後援会補助	800,000	教育後援会補助
合計	800,000	

繰越金　4,459,858円

平成14年度　会務報告

(1) 平成14年8月27日(火)　常任理事会（きのえね本店）
　会費値上げ、学校への補助、総会の持ち方
　入会金5,000(3,000)円、会費7,000(5,000)円
(2) 平成14年9月9日(月)　会計監査（きのえね支店）
(3) 平成14年9月13日(金)　理事会（きのえね支店）
　総会議案審議
(4) 平成14年10月18日(金)　総会（ホテルメトロポリタン盛岡）
(5) 平成14年12月13日(金)　会報27号発行
(6) 平成15年9月19日(金)　会計監査（きのえね支店）
(7) 平成15年9月26日(金)　理事会（きのえね支店）
　総会議案審議

平成15年度　事業計画

1．指針
母校の繁栄に大いに寄与できる基盤を整える。

2．事業計画
(1) 母校クラブ活動を積極的に支援する。
　（クラブ強化育成基金の適切な活用）
(2) 会員相互の親睦交流を図る。
　（支部、地区会、クラス会等の節目を重視した集会を盛んにする）
(3) 本部と支部・地区会等の連携を図る。
　（相互に情報を提供する）

平成15年度予算

Ⅰ　一般会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成14年度予算額
会費	1,316,000	1,785,000
入会金	940,000	1,275,000
総会会券代	420,000	500,000
利子	7	1,000
雑収入	170,220	200,000
繰越金	7,173	64,300
合計	2,853,400	3,825,300

支出の部

科目	本年度予算額	平成14年度予算額
会議費	700,000	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	493,000	400,000
慶弔費	96,000	70,000
通信費	604,000	600,000
事務費	10,000	50,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	300,000	600,000
特別会計編入	100,000	900,000
返戻金	0	0
予備費	240,400	195,300
合計	2,853,400	3,825,300

Ⅱ　特別会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成14年度予算額
一般会計より編入	100,000	900,000
利子	15	1,000
返戻金	0	0
繰越金	738,735	738,722
合計	838,750	1,639,722

支出の部

科目	本年度予算額	平成14年度予算額
返戻金	0	900,000
合計	0	900,000

平成14年度決算報告書

Ⅰ　一般会計

収入の部

科目	決算額	平成14年度予算額
会費	1,764,000	1,785,000
入会金	1,260,000	1,275,000
総会会券代	350,000	500,000
利子	6	1,000
雑収入	169,000	200,000
繰越金	64,300	64,300
借入金	1,200,000	0
合計	4,807,306	3,825,300

支出の部

科目	決算額	平成14年度予算額
会議費	672,262	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	492,110	400,000
慶弔費	95,857	70,000
通信費	603,244	600,000
事務費	3,250	50,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	523,410	600,000
特別会計編入	900,000	900,000
返戻金	1,200,000	0
予備費	0	195,300
合計	4,800,133	3,825,300

Ⅱ　特別会計

収入の部

科目	決算額	平成14年度予算額
一般会計より編入	900,000	900,000
利子	13	1,000
返戻金	1,200,000	0
繰越金	738,722	738,722
クラブ強化育成基金	0	0
寄付金	0	0
合計	2,838,735	1,639,722

支出の部

科目	決算額	平成14年度予算額
一般会計へ	1,200,000	0
名簿印刷	0	0
返戻金	900,000	900,000
合計	2,100,000	900,000

割烹
「こう弥」
盛岡市菜園2の8の36
TEL (623) 2622

校歌・応援歌のCD販売中

販売価格――1枚二千円（税込）

おととし10月に待望のCDが完成し、理事会や総会の折は受付で校歌応援歌が流され、石桜同窓会の雰囲気がさらに意気高揚しております。

また、ジャケットも桜の季節の校舎・石割桜と大変良くできております。

各支部総会や、クラブのOB会・クラス会などでCDを流したり、販売もしております。どんな集まりでもご用意いたしますので、必要枚数を事務局までご連絡下さい。（残部はお返し頂いて結構です）

支部だより

東京石桜同窓会
来年度は新卒者歓迎会を母校と共催で開催

近津義一（新8回）

東京石桜同窓会（近津義一会長）は去る10月25日、東京・青山の青山ダイヤモンドホールに、在京同窓生など約70名を集めて平成15年度、第21回「東京石桜同窓会のつどい」を開催した。

同つどいでは遠路臨席した菊地治雄校長、村上照五郎石桜同窓会会長が挨拶。旧制6回生の鈴木龍男氏による乾杯のあと歓談。午後8時過ぎ校歌を高らかに合唱して散会した。

なお席上、数年前から開かれている新卒者歓迎会を、今後母校と共催で開催するとの説明が行われた。

出席者が多いため前列の人はそのままで、２列目以降を２回に分けての撮影となった。

これは会を開催しても新卒者の参加が少なく困っていた同窓会と、進学者のその後の実態調査を強化しようとしている母校の、両者のねらいが一致し、来年度はテストケースとして実施することになったもの。母校との共催で歓迎会の参加者の拡大が期待できること。また母校は新卒者歓迎会の席上、直接諮問することで精度の高い調査が可能になる。

仙台石桜同窓会
第7回仙台石桜同窓会開催

横田英司（新11回）

今年度の仙台石桜同窓会は去る8月23日（土）午後6時よりJR仙台駅東口「美点花」において開催された。

毎回南東北在住の同窓に呼びかけ、今回で7回目。教頭の青木文一先生と同窓会副会長の村井紀之氏（新18回）が出席され、総勢19名の参加であった。

小林陵二会長（新3回）の開会挨拶、青木教頭の母校近況、事務局より会務報告、畑谷監事の会計監査報告、役員改選そして小林会長の「台風の目」と題する興味ある話題提供がなされた。以上総会は滞りなく進行し、全員の記念撮影の後、懇親会へと移る。

村井副会長の挨拶、乾杯の発声により賑々しく懇親に入る。初対面同志でもそこは石桜同窓、直ちに和らいだ雰囲気に包まれる。合間には交互指名による全員の自己紹介。初参加の大島元氏（新20回）指揮による校歌斉唱等々、宴も盛り上がって8時45分、来年の再会を期し閉会。

周知の通り仙台は校歌の作詞者土井晩翠氏の故郷。昨年は晩翠没後50周年に当ることから母校である仙台市立立町小学校では、全国に呼びかけて晩翠作の校歌収集を行った。晩翠は約200校の作詞をしたといわれるが、これに応えて15校分の各種資料が寄せられたとのこと。なお、同校ではこのための保管資料室を新設し、一般にも公開しているので一度見学をお勧めしたい。母校の資料はすでに当事務局より寄贈済。

もりにし石桜会
もりにし石桜会開催

高橋隆一（新20回）

10月6日(水)午後6時30分から、盛岡市青山2丁目「とんとんびょうし」において、「もりにし石桜会」を開催した。

当日は県都盛岡市の西部地区と雫石町、滝沢村の治安を守る盛岡西警察に勤務する17回生から47回生の12名の石桜会会員が出席した。

17回生の赤澤克夫氏の乾杯の音頭で懇親会が始まり、歴代の校長、教頭、教官、先生方々の懐かしい想い出話で盛り上がった。

なお、会長に20回生の高橋隆一氏が選ばれ、全員で校歌を歌い会を閉じた。

クラブOB会

石桜バレーボール会
総会を母校で開催

斉藤裕夫（新11回）

伝統ある岩手中・高校バレーボール部（排球部）のOBで組織する「石桜バレーボール会」（会長・廣田匡克、新7回）の第5回総会は、平成15年8月30日に開催した。今回は卒業して以来、母校を訪問したことがないOBも多く、当時の面影を残す講堂や、新しい学び舎の観察・現役の激励などのため、母校で開催したものである。

なお、7月26日には役員会を開催し、総会提出案件を審議した。

◎総会には12名が出席、来賓として菊地校長に出席を頂いた。また総会に先立ち、OBと現役が一緒に記念撮影を行った。

◎総会に先立ち、物故者38名の冥福を祈り、黙禱をささげた。

◎報告事項で「石桜バレーボール会の活動状況」・「現役バレーボール部の活動状況（戦績・戦評）」・「会費・寄付金の拠出状況」・「新会員の紹介」を報告し了承された。

◎総会の議長に小岩頌児氏（旧17回）を選出し議事を進行。議決事項では、「会費の決算（平成14年7月1日～15年6月30日）」・「平成15年度活動計画」が上程、審議され原案どおり承認された。

◎意見・提案として「現役のレベルアップ」の対策や、基金造成と「強化費」を設けることが提言され、次年度の実施事項として総会を終了した。

◎総会終了後は会場をホテル東日本に移し、「懇親会」を開催した。和気あいあいの中、現役時代のバレーボール談に花が咲き、来年の再会を約し閉会となった。

§現役にアドバイス

中学校での経験者が多く、鍛えれば有望と見られる身長180㌢以上の部員が4人いる。今後は原点の意識を統一し、来春の高総体盛岡地区予選突破を最大の目標とし、パス・レシーブ・アタック・サーブを要素とする基礎練習を、冬期間にやり抜く石桜精神力の発揮が肝要である。基礎的な瞬発力・ジャンプ力の養成は緊急の課題で、コツコツと地道な練習に耐え抜けば明るい展望がある。

柔道部OB会
現役の稽古を見学

東根清藏（旧12回）

平成15年9月26日石桜同窓会理事会、10月17日同窓会の総会に出席致しましたが、校長先生のご挨拶に「卒業生が年々人数減少し少子化現象により、今後ますます学校運営、また同窓会組織全体に重大な影響を生じるものと危惧懸念している」と、意中を披瀝なされた。

同年10月27日、久し振りで柔道部の稽古見学に行く。佐藤正俊先生指導のもと（松田先生所用のため不在）に10名5組で乱取の稽古中なり。気合十分、叱咤激励、流汗凛凛、筆者の軽量級の老人と違い体格もよし、みずみずしく若さに溢れている。格好もよし。

紹介あり「辛い稽古の体験は、きっと将来自分の糧となり、自分の資本になるはず。そして怪我のないように」と、老婆心の駄弁をなす。

佐藤正俊先生に対して「部員が少ないではないか」と尋ねたところ「今日の稽古者は、1・2年の生徒であり、他校では正選手の5名の編成も出来ざる学校もあり、これでも多い方である」との事なり。

前述したごとく、将来少子化問題を抱え学校の部活の部種が多いために、部員も少人数となる可能性が必然と筆者なりに思考した。

なお佐藤先生は、岩手中・高柔道部卒業生の柔桜会の名簿整理作製中なりとのことである。

従って完成の暁の時点で魅力ある柔道部発展の指針を検討したき所存ですので、その節にはよろしく賛同ご協力を賜りたいと思います。

ラグビー部OB会
クラブだより

梨子洋和（新33回）

今年に入って二上先輩より電話があり、「市内リーグの組合せがあるからちょっと来い」と言われて会場へ行きました。その時先輩が事務局の飛澤さんに向って、「俺は協会の役員もやってるから、今後石桜の連絡はこの梨子に入れてくれ」と言われまして、「アリャ、もしかして俺がやらなきゃならないのかな？ハマッチャッテルかな？」と思いましたが。現役時代からお世話になっている大先輩に口答えすることも出来ず。「お前酒飲んであんだけ元気あんだからヤレ」の一言を受けましてOBチームのまとめ役をすることになった次第です。今年は協会等、回りの状況がわからず皆様にご指導頂きながら、なんとか回したと言う感じです。

ラグビーは（英国で）教育の一貫、自己鍛錬の一助として発展してきたスポーツです。最近自由と勝手気儘を履き違えている風潮がありますが、自由に対しては責任を伴うことを忘れてはいけません。要領よく自分だけうまく世の中を渡ろうとしても世の中そんなに甘くはないものです。（恩師一義先生の思いがこの年になってやっと私なりですが分る気がします）

私も現役には技術的なことよりも、諦めないで辛抱努力することの大切さ、一度で出来なければ二度、二度で出来なければ三度、三度で出来なければ出来るまでガンバル大切さを。要領よくやる必要はない、努力することで何かが見えて来るんだぞ。得意を伸ばせ、無ければ作れ、他人を思いやれ！ ともっぱら檄を飛ばしています。身体的に頑健なだけでなく他人を思いやれる人間になって欲しいからです。

現役も今年度はAブロック入りし、父兄も大いに盛り上がっているようですし、我々OBも現役に負けないよう、めざせ花園！ 石をも貫く石桜精神をスローガンにして応援して行きたいと思います。

卓球部OB会
卓球部OB会の近況

松村　諭（新22回）

卓球部OB会の会員数は現在130名です。毎年の新年会と還暦祝が主な行事です。OB会費の一部を現役部員の活動費に補助をしております。今年の新年会は、創部初期から二十年余り顧問をして下さった鈴木勝彦先生を囲んでインターハイで活躍した頃の話で盛り上がりました。また、現顧問の佐々木康明先生の現況の報告もあり、頑張っている部員に今後の期待をしました。

22回生の私は卒業してはや35年、当時の練習場がそのまま残っており、現在も現役部員が汗を流しております。いつも車で母校の側を通るたびになんとも言えない懐かしさを感じます。そしていつも母校の岩手高校と卓球部に在籍させていただいたことに感謝をし、誇りに思って仕事に励んでおります。

◇　◇

同期会

新11回同期会

幹事代表　小原幸司

学び舎卒業以来あっと言う間に43年が経過、人生最初とする長寿祝の「還暦」も過ぎ学生時代がより懐かしくなり、久しぶりに同期会を開催した。3月22日（土）午後5時つなぎ温泉ホテル愛真館に集合、ゆっくり温泉につかってから同期会は開催された。

今回は村上照五郎同窓会長、足澤至先生、高橋精四郎先生が出席され、岩手中（新9回）も含めて総勢42名の参加であった。資料には新しい名簿、メッセージとして社会活動、地域活動やスポーツ団体などの近況をのせて喜ばれた。

最後にCDをバックに校歌、応援歌を歌い、あっと言う間に三時間が過ぎてお抜きとした。

新十四回生還暦記念の同期会を開催

幹事代表　澤田邦夫

8月9日（土）午後5時より盛岡市駅前北通りのホテルメトロポリタンニューウイング4階で恩師の足沢、高橋（精）、池口、村上先生、菊地校長を囲み、還暦記念の同期会を開催した。

各クラスの幹事は左の通り。

A組　佐藤正俊　澤田邦夫
　　道淵恵三
B組　池野楯雄　菊池康弥
　　菊池洋一
C組　石村至朗　小笠原正光
　　荻野次士　黒沼芳朗
　　中村栄孝
D組　阿部久佐　森　邦彦

紫桜会（新18回）開催

平成15年度紫桜会は11月22日（土）6時30分よりつなぎ温泉ホテル大観で開催された。村井紀之幹事代表、熊谷憲治事務局担当として案内、同窓会長であり紫桜会顧問でもある村上照五郎先生を囲んで20名ほどが集い、翌朝解散した。

第4回石桜獅子の会（新21回）開催

新21回卒の獅子の会は8月15日（金）盛岡市八幡宮前の初駒本店で開催、村上照五郎同窓会長、菊地治雄校長、西在家寛元校長、井藤博先生、沼田先生を招き、40名程の盛会だった。

肉のデパート
丸　岩
盛岡市上田一丁目７の11　ＴＥＬ(624)6565

大小御宴会・御商談等に
御利用下さい。
御食事処
きのえね支店
盛岡市本町通１丁目17-6
電話 622-9346

メンズファッション＆スクールウェア
㈱ 佐藤被服
本　社　盛岡市肴町　ＴＥＬ (代)(624)3797
営業所　紫波郡矢巾町流通センター
ＴＥＬ (代)(637)2661

平成15年度　クラブ活動成績

陸上部
- 平成15年度みちのく春季陸上一関大会出場
- 平成15年度盛岡市内一周継走　出場
- 平成15年度春季期陸上大会出場
- **第55回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技出場　8種競技第3位　川村元裕（東北大会出場権獲得）**
- 第58回東北陸上競技大会出場　8種競技第17位　川村元裕
- 平成14年度岩手県選手権陸上競技会出場　8種競技第3位　川村元裕
- 第55回岩手県民体育大会陸上競技出場
- 平成15年度新人戦陸上競技大会出場
- 平成15年度秋季陸上競技会出場

ソフトテニス部
- 第11回大勝杯ソフトテニス大会出場
- **第55回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会　団体ベスト8**
  田山・中村組　個人ベスト8（東北大会出場権獲得）
- 第46回年度東北高等学校ソフトテニス選手権大会出場
- 第55回岩手県民体育大会ソフトテニス競技出場
- 第48回岩手県高等学校新人ソフトテニス大会出場　ベスト8進出

バスケットボール部
- 第55回岩手県高等学校総合体育大会バスケット競技出場　岩手県ベスト8

バレーボール部
- 第3回岩手県私立高等学校男子・女子バレーボール選手権大会出場

ラグビー部
- 第55回岩手県高等学校総合体育大会ラグビー競技出場　Cブロック優勝
- 第55回岩手県民体育大会ラグビー競技出場　Aブロック昇格
- 第83回全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県大会出場

柔道部
- 第23回北岩手・南青森高等学校柔道大会出場
- 第55回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技盛岡地区予選大会出場　団体1位
- **第55回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技出場**
  個人　81kg級第3位金谷竜一　100kg級第3位中村彰圭（東北大会出場権獲得）
  90kg級ベスト16井上康弘　100kg超級ベスト16小笠原大輔
- 第53回東北高等学校柔道大会出場　金谷竜一、中村彰圭
- 第55回岩手県民体育大会柔道競技盛岡地区予選出場
- 第55回岩手県民体育大会柔道競技出場
- 第35回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会出場　90kg級第3位井上。西舘　100kg超級第3位小笠原大輔

剣道部
- 第55回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技出場
- 第55回岩手県民体育大会剣道競技出場
- 第52回盛岡地区剣道大会出場　準優勝佐々木秀夫

卓球部
- 第55回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技盛岡地区予選大会出場
- 第55回岩手県民体育大会卓球競技出場
- 岩手水沢インターハイ記念第6回MJオープン卓球大会出場

ハンドボール部
- 第55回盛岡市民体育大会ハンドボール競技出場
- 第55回岩手県民体育大会ハンドボール競技出場

山岳部
- 平成15年度第2回東北ブロックジュニアクライミング大会出場　第7位佐々木孝洋　第19位田口　第24位中嶋、工藤
- **第55回岩手県高等学校総合体育大会登山競技団体第3位**
- 岩手県山岳マラソン大会出場　少年男子の部　第2位近藤裕佑　第4位八幡　第7位中嶋　第9位工藤
- 岩手県クライミングコンペ出場　エキスパートの部　第3位佐々木　第4位近藤　第6位工藤　第8位中嶋
  ビギナーの部　第2位熊谷　第4位高田　第9位金澤
- **第55回岩手県民体育大会山岳競技　Aチーム　クライミング競技第2位、縦走競技第2位**
- **平成15年度東北総合体育大会山岳競技　縦走第3位　近藤裕祐（国体出場）**
- 第6回ジュニアオリンピッククライミング大会出場
- 平成15年度岩手県クライミング選手権大会　優勝工藤億人　第3位田口智康　第4位中嶋佑樹

テニス部
- 平成14年度東北私立高等学校テニス大会出場　団体優勝
- トヨタジュニアテニストーナメント2003　出場
- 第24回岩手県ジュニアテニス選手権大会
  - 18歳以下男子シングルス　優勝竹浪康弘　準優勝石田孝啓　ベスト8布台容　ベスト16本宮知之、吉田泰久
  - 18歳以下男子ダブルス　優勝竹浪康弘・石田孝啓組　第3位布台容・古舘雅組、吉田泰久・前田潤組
  - 16歳以下男子シングルス　準優勝川崎龍一郎　第3位谷地彬人　ベスト8福勢崇矩、澤藤亮輔　ベスト16阿部蘭
  - 16歳以下男子ダブルス　優勝川崎龍一郎・谷地彬人組　準優勝澤藤亮輔・吉田智哉（ロイヤルテニスクラブ）組　第3位福勢崇矩・佐藤友紀組　ベスト8藤村貴佳・中山健介組
  - 14歳以下男子シングルス　ベスト8工藤将、布台州、高橋圭滋　ベスト16岩崎新也、谷村嘉也
  - 14歳以下男子ダブルス　第3位布台州・高橋圭滋組、工藤将・岩崎新也組
  - 12歳以下男子シングルス　ベスト8佐々木浩徳
- 第22回岩手県A級シングルストーナメント
  準優勝竹浪康弘　ベスト8川崎龍一郎
- **第55回岩手県高等学校総合体育大会テニス競技**
  - **団体優勝（東北大会・インターハイ出場権獲得）**
  - **男子シングルス　優勝　竹浪康弘　準優勝石田孝啓　第3位川崎龍一郎（東北大会・インターハイ出場権獲得）　ベスト8布台容**
  - **男子ダブルス　優勝　竹浪康弘・石田孝啓組　準優勝　布台容・川崎龍一郎組（東北大会・インターハイ出場権獲得）　ベスト8吉田泰久・澤藤亮輔組**
- 第22回岩手県中学生テニス選手権大会
  - 団体優勝
  - シングルス　準優勝　谷地彬人　ベスト8工藤将
  - ダブルス　優勝　谷地彬人・高橋圭滋組　ベスト8　谷村嘉也・鎌田知希組、岩崎新也・布台州組
- **第44回東北高等学校テニス選手権大会**
  - **団体優勝（三連覇）**
  - **シングルス準優勝　竹浪康弘　ダブルス優勝　竹浪康弘・石田孝啓組**
- **第55回岩手県民体育大会テニス競技**
  - **少年男子シングルス優勝竹浪康弘　準優勝川崎龍一郎　第3位石田孝啓**
  - **少年男子ダブルス　優勝布台容・石田孝啓組**　ベスト8吉田泰久・前田潤組、川崎龍一郎・澤藤亮輔
- 第25回東北ジュニアテニス選手権大会出場
  - 18歳以下男子シングルスベスト8竹浪康弘、布台容　ベスト16石田孝啓
  - 18歳以下男子ダブルス　ベスト8竹浪康弘・石田孝啓組
  - 16歳以下男子シングルス　潤優勝川崎龍一郎　ベスト8谷地彬人
- 第20回東北中学生テニス選手権大会出場
  - 団体準優勝
  - 個人　シングルス　ベスト16谷地彬人　ダブルス第3位　谷地彬人・高橋圭滋組
- 第20回岩手県高等学校一年生テニス選手権大会出場
  - 男子シングルス　優勝藤澤亮輔
  - 男子ダブルス　優勝藤澤亮輔・阿部蘭組
- 第10回岩手県秋季ジュニアテニス選手権大会出場　準優勝谷地彬人
- 第60回全国高等学校総合体育大会テニス競技出場
- 第10回東北秋季ジュニアテニス選手権大会出場　第3位谷地彬人
- 第24回岩手県ジュニアテニス選手権大会出場
  優勝石田孝啓　準優勝川崎龍一郎　ベスト8谷地彬人
- 第35回岩手県高等学校新人テニス大会盛岡地区予選大会出場
- 平成15年度全日本ジュニアテニス選手権大会出場
- **第35回岩手県高等学校新人テニス大会出場**
  - **団体優勝**
  - **個人　男子シングルス　優勝川崎龍一郎　準優勝石田孝啓**
  - **男子ダブルス　優勝川崎龍一郎・石田孝啓組**

サッカークラブ
- 第82回全国高等学校サッカー選手権岩手県大会出場

水泳部
- 第55回岩手県高等学校総合体育大会水泳競技出場
- 第55回岩手県民体育大会水泳競技出場
- 平成15年度岩手県高等学校体育連盟新人戦水泳競技大会出場
- **第11回東北水泳大会出場**

スキー部
- 岩手県中学校スキーアルペン競技記録会出場　第19位近藤（中学1年生の部第1位）
- 全日本スキー連盟B級公認B級ポイントレース　2003秋田八幡平スラローム大会　第64位近藤
- 月山GSスキー競技会　高校男子　第5位熊谷　第10位近藤　第18位田口　第23位工藤
  中学男子　第11位小野寺　第14位近藤

硬式野球部
- 平成15年度全国高等学校野球選手権大会岩手県大会出場

将棋部
- 第25回みちのく名人戦出場　二段位獲得戦優勝　岩泉聡
- 第57回全日本アマチュア将棋名人戦岩手県予選出場
- 北東北将棋選手権大会出場
- 平成15年度岩手県高等学校文化連盟盛岡支部高校将棋順位戦出場
- **第25回岩手県高等学校文化連盟将棋大会　男子団体A級　優　勝　岩手A1チーム　第3位岩手A2チーム**
  男子団体B級　準優勝　岩手B2チーム
  男子個人戦A級準優勝　澤口竜一　ベスト8　川村憲慶　佐々木裕太郎
- 第24回全国中学生選抜将棋選手権岩手県予選大会出場
- 第16回全国高等学校将棋竜王戦岩手県予選大会出場　A級第3位　川村憲慶　ベスト8澤口竜一、庵原佑、岩泉聡
  B級第3位　村上雄
- 第4回久慈場所将棋大会段位獲得戦出場
- 第24回全国中学生選抜将棋選手権大会出場
- 第27回全国高等学校文化祭福井大会出場
- 第14回大山十五世名人杯将棋大会出場
- 2003国民年金杯将棋大会出場　高等学校の部優勝佐々木裕太郎　第2位荻本悠介　第3位佐々木要祐
  中学部第4位今井孝之
- **第13回岩手県高等学校文化連盟将棋級別大会　A級優勝澤口竜一　準優勝佐々木要祐**　ベスト8熊谷崇宏　松岡諒太
- 第18回全国オール学生将棋選手権団体戦出場　団体第33位

吹奏楽部
- **平成15年度　マーチングフェスティバル岩手県北大会出場　グッドサウンド賞受賞　東北大会出場権獲得**
- **平成15年度　全日本吹奏楽連盟マーチングフェスティバル東北大会出場**

化学部
- **平成15年度モデルロケット全国大会出場　定点着地競技部門優勝白沢**
  パラシュート滞空競技　優勝小国　準優勝谷藤　第3位太田

絵画部
- 平成15年度岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
  - 絵画部門　特賞　秋葉文弘　入選　小田島圭　佐々木祥
  - デザイン部門　入選　小田島圭、吉田智樹
  - 立体部門　入選　伊藤俊平

現役諸君の活躍を喜び健闘を祈る

新5回 同窓会理事　村上　昇

「人生七十古来稀なり」という古稀を迎えたが、今時は「老人クラブの青年部」扱いである。敬愛する足澤至、大沢靖といった喜寿を迎えて猶かくしゃくたる師、先輩の背中を見ながら、グラウンド・ゴルフ、囲碁等々に興じる今日この頃である。正に、「日残リテ昏ルニ未ダ遠シ」（藤沢周平「三屋清左衛門残日録」より）の感が深い。

さて、新聞・テレビを念入りに見るようになったが、そんな折、母校に関する記事や同窓諸兄の動向、特にも若く将来のある現役諸君の活躍ぶりを目にするのは、殊のほか嬉しいものである。

そのハイライトは、何といっても情報満載の春の「高校総体」であり、又東北大会、インターハイ、国体につながる夏の「県体」であろう。テニスを始め、山岳、ソフトテニス、柔道、剣道、ラグビー、水泳、陸上など母校の名部の活躍ぶりは、その折々の報道で承知しているが、とりわけテニス部のここ数年にわたる活躍ぶりは、「お見事」の一語につきる。至難の連覇を果たし、東北チャンピオンとなった圧倒的な強さは心強く、選手層の厚さが頼もしい。

その勢いは、かつて昭和20年代から30年代、40年代にかけて黄金時代を築いた水泳部、体操部のそれをほうふつさせるものがある。（因みに体操部は、昭和23年から44年までの22年間で、9連覇を含み延べ15年首座を確保した。石桜五十年史、同七十年史より。中高一貫教育のなせるわざか。）この際、選手、指導者、関係各位の労をねぎらい、益々の発展を願ってやまない。

一方、「宇宙の夢高々と」と大きく報道されたモデルロケット全国大会での優勝は、かつて三次元走行車や超伝導の実験デモで名を馳せた物理部の活躍に続く快挙であり、化学部の存在感を遺憾無く発揮した。物理、化学という今日的分野、テーマでの両部の活躍は素晴らしい。

又、将棋部の活躍にも大きな拍手をおくりたい。今人気の囲碁・将棋の普及が進み、レベルが一段と高まる中で、その頂点に立つことは容易なことではない。メンバーの心技体の充実の証であろう。

過日の石桜同窓会で菊地校長から、在校生の進学状況、クラブの活動状況を含む母校の現状について報告があった。詳細な添付資料を通して、改めてその全容を知ることができたが、総体的に、現役諸君の勉学、多彩な部活動への意欲的な取り組みがうかがわれ、たいへん心強かった。時代と置かれた環境の中で懸命に努力し、汗している諸君に、又平成15年を送り新年を迎えようとする今、静かに勉学に拍車をかけているであろう現役の諸君に、「幸いあれ」、「栄光あれ」と、OBの一員として心からのエールをおくりたい。

母校（生）の挑戦、戦いぶりは、自らの青春時代のそれと重なるだけに大いに気になるものだが、OB団は、いつもあの〝虎キチ〟にも似た熱い思いで、石桜のバッヂを着けた諸君等を見つめ、見守っている。現役諸君の健闘を祈るや、切。

追伸　「盛岡・ミステリー映画祭、同劇場」に続き大きな話題をよんだ「盛岡・ぼくらの時代展」が、入場者数四万五千人余を記録し、11月30日閉幕した。同30日、久々に「盛岡文士劇」を見る機会を得たが、力の入った常盤津林中に魅せられた。流石に貫禄をみせた林中役の高橋克彦さん、臆することなくきちっと演じた京枡屋役の石川富喜蔵治さん（同期）。同窓お二人の共演、熱演に格別の思いで拍手をおくり、充実した素晴らしい一日となったことに感謝し、帰途についた。

この三つの企画は、云うまでもなく、いずれも高橋克彦さん主導のものである。そのセンスの素晴らしさ、多才ぶり、全てにタフな氏のご活躍には、ただただ驚くばかりである。同窓の一人として、心からの敬意と感謝を申しあげたい。

＊本校は特定のコースの成果を上げるために、他のコースを犠牲にしません。だからこそ、各コースから国公立大学・有名私立大学をはじめ、多数の大学に合格者を出しているのです。

■過去三年間の卒業生の主な合格校

第3期生（平成13年3月卒）			第4期生（平成14年3月卒）			第5期生（平成15年3月卒）		
特進	選抜	文理	特進	選抜	文理	特進	選抜	文理
弘前大	岩手大	鹿屋体育	北見工大	岩手大	岩手大	秋田大（2名）	岩手大（4名）	県立産短
岩手大	青森公立	岩手県立	岩手大	山形大	青森公立	県立産短	県立盛短	青森大
福島大	岩手県立	北海道工	山形大	福島大	県立産短大	岩手医大（4名）	東北学院	八戸工大
都留文大	札幌大	青森大	福島大	秋田県立短大	北海道東海大	青山学院	駒沢大	盛岡大
帝京大	札幌学院	八戸工大	釧路公立	盛岡大	青森大	成城大	東海大	秋田経法
法政大	岩手医大	秋田経法	県立産短	東北学院	八戸工大	東洋大	二松学舎	石巻専修
神奈川大	奥羽大	岩手医大	岩手医大	城西大	岩手医大	日大	日大	東北学院
同志社大	白鴎大	盛岡大	東北学院	東京農大	盛岡大	法政大	神奈川大	東北工大
	城西大	石巻専修	東京経大	東洋大	秋田経法	同志社大（3名）	同志社大	東北福祉
	石巻専修	東北学院	日大	日大	東北学院			城西大
	東北学院	東北工大	早稲田大	同志社大	東北福祉			大東文化
	東北工大	北里大	同志社大	帝京大	東北工大			拓殖大
	専修大	工学院大	龍谷大	東洋大	埼玉工大			帝京大
	帝京大	拓殖大		日大	城西大			日大
	東京工芸	帝京大		法政大	千葉工大			日本歯大
	東京国際	東京経大		立正大	国士舘大			神奈川大
	二松学舎	東京農大		神奈川大	大東文化			大谷大
	日大	日大		東海大	東京農大			大阪芸大
		神奈川大		京都産大				

●国公立　21名　●私立大　145名　●国公立　19名　●私立大　147名　●国公立　11名　●私立大　151名

平成16年度　岩手高等学校入試予定一覧

試験の種類		出願資格　条件	出願期間	試験日	試験科目	発表	入学手続き
特別進学コース（併願可）	学力試験	有名私立大・国・公立大 に進学を希望する生徒	1月13日(火)〜14日(水)	1月16日(金)	国語・数学・英語	1月20日(火)	（一次）1月21日(水)〜1月28日(水)（二次）3月22日(月)〜3月23日(火)
	推薦	上記と同じ生徒で中学3年次の評定平均が3.8以上の者			調査書・推薦書		
一般コース	専願	本校第一志望に合格後は本校入学が確約できる生徒	1月21日(水)〜23日(金)	1月27日(火)	国・社・数・理・英の5教科から3教科の選択　調査書・面接	2月3日(火)	専願と併願（一次）2月4日(水)〜2月10日(火)　併願（二次）3月22日(月)〜3月23日(火)
	併願	他校受験可			国語・社会・数学・理科・英語		
クラブ推薦		県大会規模で顕著な成績を収めた生徒、またはそれに匹敵する優れた能力を有する生徒　本校各部顧問が勧誘した生徒	1月13日(火)〜14日(水)	1月16日(金)	調査書・推薦書　面接	1月20日(火)	1月21日(水)〜1月28日(水)
二期試験		・募集人員　5名	3月22日(月)〜23日(火)	3月25日(木)	調査書・作文　面接	3月26日(金)	3月29日(月)

2頁に紹介した以外に開催された同期会等一覧

〈今年度の同期会〉

同期会	実施日	会場	来賓
新14回生	2003/8/9	ホテルニューウイング	
新21回生(44の会)	2003/8/15	初駒	
新32回生	2003/8/16	ホテルロイヤル盛岡	
新8回生	2003/6/26		足沢至先生ご夫妻
新6回生	2003/6/15	愛真館	
新30回生	2003/1/11	ホテルメトロポリタン	
新33回生	2003/1/3	ホテルニューウイング	
新11回生	2003/3/22	愛真館	高橋精四郎・村上照五郎先生
新18回生(紫桜会)	2002/11/23	ホテル大観	村上照五郎・菊池治雄先生
新2回生	2002/12/12	初駒	

〈今年度の地区会〉

地区会			
仙台石桜同窓会	2002/8/23	メイテンファ	
東京石桜同窓会	2003/10/25	青山ダイヤモンドホール	
繋石桜会	2002/2/27	ホテル大観	
盛岡中央市場水産石桜会	2003/7/12	三寿司本店	足沢至・村上照五郎先生
日本大学石桜分会総会	2003/11/21	初駒	
もりにし石桜会	2003/10/6	青山町とんとんびょうし	
クラブOB会			
ソフトテニスOB会	2003/1/2	ホテルニューウイング	
東京村桜会	2003/3/15	神田新世界「菜館」	村上照五郎先生ご夫妻

〈お祝い〉

桜球会「青春の記録」出版祝	2003/6/8	初駒	
新7回生伊藤仁君大臣表彰祝い	2003/5/10	ホテル東日本	
新21回生宮澤俊次君会社設立お祝い	2003/3/5	ホテルニューウイング	

〈表彰者〉

伊藤仁	2003/1/17	交通栄誉賞緑十字金賞受賞	
小笠原道夫		勲五等双光旭日章	旧8回生
横矢久		勲五等双光旭日章	旧14回生
矢館秀雄		勲六等単光旭日章	新3回生
谷藤正人		勲六等瑞宝章	新3回生
藤原仁左衛門		瑞宝双光章	旧14回生
藤根義慶		旭日双光章	新2回生
大沢万治		平成15年度東北総合体育大会功労者	旧6回生

第2回生内義夫作品發表會

昭和27年1月20日　於 縣公會堂

交聲曲三部作歌詞

岩手山

北上川

三陸海岸

生内義夫先生の作品（楽譜）の復元について

新5回生　畑谷守良

昭和28年秋、岩手県公会堂で生内義夫先生（S23～29年　岩手高音楽講師）作曲による交声曲「岩手山」等の演奏会が行われました。

舞台裏では、高校三年生の音楽部員が、当時普及し始めたオープンリール式のテープレコーダーで、演奏の録音にかかりきりでしたが、テープの容量の都合上、一曲だけを録音しました。

半世紀を経た昨年、仙台の石桜会OB同志の間で、この録音テープの存在が話題となり、新11回生の横田英司氏と親交のある、西宮市在住の佐川隆二氏（新6回生）が録音担当者で、そのテープを保持していることを知りました。そこで横田氏を通じて佐川氏に、是非聴いてみたいのでテープの貸し出しをお願いしたところ、快諾頂きました。

生内先生は昭和24年、「岩手フィルハーモニックソサエティ」というコーラスグループを結成され、交声曲三部作として「岩手山」「北上川」「三陸海岸」を作曲されましたが、幸い佐川氏は以前の合唱練習時、「北上川」も録音されておりましたので、現存のテープはこの二曲ということになります。

この貴重なテープを入手したのが今年の1月末、以来ほぼ半年間、毎晩のように子守唄替わりに2曲を聴くことになりました。初めのうちは50年前を想い出し、懐かしんでいましたが、その後テープだけでは不完全なものであり、歌詞や楽譜を記録として残すべきと考えたのです。

先ずは採譜をと挑戦しましたが、所詮素人の悲しさで、主メロディは聴音・採譜と幾分復元できたつもりでも、伴奏部分特に幾つもの音が重なった和音になると、皆目見当がつきません。半ば諦めかけたとき、三十年ほど前の教え子に音楽大卒の谷川美智子さん（さいたま市在住）がいるのを思い出し、早速採譜の件をお願いしてみました。「やってみます」の快い回答に、原テープからの孫テープを送りましたが、テープの古さやダビングによる音質の劣化にもかかわらず、6月になって楽譜とエレクトーン演奏のテープが届けられました。

その楽譜はセミプロの手になるだけに、私には考えもつかない細かな点も聴き逃さず、専門的手法で採譜が施されておりました。

一方歌詞については、音源テープの保有者である佐川氏が八方探索するかたわら、母校の第4応援歌作成パートナーの吉田榮一氏（新7回生）の協力を得て、聴き取り・掘り起こしを進めていました。そんな矢先、作詞者の水原一先生（S22～24　岩手中　国語教諭）とのコンタクトが得られて、合唱発表会のプログラムが手に入り、ここでようやく「岩手山」「北上川」二曲の歌詞と楽譜が揃ったのでした。

余談になりますが、仙台石桜同窓会の役員会の席上でもこの歌詞・テープを視聴しましたが、会長の小林陵二氏（新3回生）が「自分もこのコーラスのメンバーだったんです」の言に一同大いに驚いたことでした。氏の記憶では「私の隣で歌っていた人が、声が大きくて時々つられそうになった」とのこと。その後の調べで、その声の主は「岩手山」ソロパートの石塚邦夫氏（故人・新1回生）であることが分かりました。

尤も、録音テープの方の男声ソリストは国立音大の清水義人氏であり、「北上川」の女声ソリストは当時の一関一高音楽教論古藤高子先生（故人・S24～40同校在職）であることも判明しました。古藤先生の教え子の話によれば、「先生は授業の時、いつも生徒より早く音楽室に来て、ベートーベンやショパンのピアノ曲を弾きながら生徒を待っていましたっけ…」と懐かしそうでした。

復元した2曲について歌詞は完全なものですが、楽譜の方は混声3部合唱の主に高音部のメロディだけであり不完全です。また、生内先生は交声曲3部作と更にもう一部「平和」という曲を残したのですから、その内のまだ2曲しか録音採譜されておらないわけです。

更に昭和26年11月、岩手中学・高校の創立25周年記念式典が挙行されました。その関連行事の一環として、生内義夫作曲・水原一作詞「創立25周年記念祝典カンタータ」が岩手高校グリークラブ男声合唱によって披露されましたが、その楽譜及び歌詞は会誌「石桜」48号に掲載されております。そこでこの楽譜を基に、再び谷川さんに演奏テープの作成を依頼しております。

また、生内先生が岩手中学に赴任早々の昭和23年のこと、当時中学2年だった5回生の音楽授業中「この歌は俺の作品だけど、唄ってみなさい」と短編2曲を唄わされた憶えがあります。おぼろげながらですが、妙にそのメロディが頭に残っており、なんとか譜面化して母校に残したい思いですが、この2曲についての記憶がどこまでも曖昧ですので、どなたかにお願いして正確な曲とすることが出来れば幸いなのですが……。

なお、生内先生が永年指導された「岩手フィルハーモニックソサエティ」による合唱でもありましたので、或いはメンバーの誰かが楽譜を持っていないか、誰かに当時の思い出話等聞けないかなどと尽きぬ興味が湧いてきます。更には「三陸海岸」と「平和」の楽譜探しが残されていますから、今後調査を続けたいと思っています。

ともあれ、幸いにしてまた思いがけず収集できました資料を、今回母校に寄贈できますことを何よりも喜びとするものであります。最後にこれら資料の作成に当り、多くの方々から情報提供頂きました。とりわけ横田氏からは多大の協力を頂きましたことに深く感謝致します。

資料収集並びに提供者
畑谷守良（新5回生）
佐川隆二（新6回生）
吉田榮一（新7回生）
横田英司（新11回生）

同窓生による会報「急須」発刊される

新制岩手中学校第4回卒業生
新制岩手高等学校第6回卒業生
代表　斉藤　裕
事務局　北舘　賢

私たち新制中学第四回卒業生・新制高校第六回卒業生は通称四六会と称し、毎年同級生の心を結ぶ機関誌「急須」を発刊しています。

今年で6号になりました。この機関誌は、一人ひとりの68年間の生き様を読みとることが出来ます。ご覧になっていただければ幸いです。なお、同窓会事務局にも数冊いただいております。興味のある方はご連絡いただきたいと存じます。

新生期（昭和20～29）
音楽の真髄を伝えた教師と生徒たちの軌跡

新7回生　吉田榮一

生内義夫先生　在籍期間　昭和23・4～29・11　音楽　故人

水原　一先生　在籍期間　昭和22・4～24・4　国語　駒沢大学名誉教授

昭和24年　岩手フィルハーモニックソサイティ結成
岩手高校、岩手女子高校音楽部合同

昭和24・4・18　水原一先生離任式

昭和24・5・30　岩手県主催第3回岩手芸術祭参加　生内義夫新作カンタータ「北上川」発表　（県公会堂）

昭和24　岩手フィルハーモニックソサイティ主催「第一回生内義夫作品発表会」　（資料不明）

昭和25・2・7　交声曲三部作「岩手山」「北上川」「三陸海岸」生内義夫指揮　三神昭子伴奏　岩手フィルハーモニックソサイティ出演によりJOQGローカルタイムに東北六県向けに放送された。

昭和26・6　雫石町大火、生内義夫先生自宅全焼により帰省。その前後に祖父と叔父、12月に父を失うなどの不幸が重なる。

昭和26・6　岩手フィルハーモニックソサイティ主催「雫石救済音楽会」に生内先生を招待。先生指揮により交声曲三部作発表、雫石町に収益を寄付。

昭和26・10　生内義夫作曲「ヴァイオリン・ソナタ」発表　（国立音楽大学講堂）

昭和26・11・4　岩中・岩高創立25周年記念祝典カンタータ発表
生内義夫指揮　岩手高校グリークラブ男声合唱　（岩手高校講堂）

昭和27・1・20　岩手フィルハーモニックソサイティ主催「第二回生内義夫作品発表会」
第1部　交声曲「平和」
第2部　交声曲「岩手山」
学生歌（ドイツ民謡）
「ヴァイオリン・ソナタ」
賛助出演　バリトン独唱　清水義人　ピアノ内田弘　ヴァイオリン阿部昭吾　（県公会堂）

昭和28・11・9　岩手フィルハーモニックソサイティ主催「国立音楽大学室内楽団演奏会」
生内義夫指揮　岩手大学、岩手女子高校、岩手高校合計約60名による交声曲「岩手山」合唱出演　（県公会堂）
（昭和28・12・10発行　石桜新聞第25号　記事）

※交声曲三部作　JOQC岩手県下放送予定　S28・12・15
出演　岩手大学、岩手女子高校、岩手高校

※参考資料
第2回生内義夫作品発表会資料
会誌石桜　48号（創立25年特集、音楽部報）、同49号（音楽部報）
石桜新聞　創刊号、25号
石桜70年誌

〈お願い〉

昭和50年から昭和60年までの間に卒業された諸子にお願いします。

もし在校時の「生徒手帳」をおもちでしたら同窓会事務局まで。住所・氏名・卒業年度明記して下さい。

応募者には薄謝を呈します。

■事務局より

会報発行にあたり、同窓先輩の方々から熱き心あふれる原稿をたくさんいただきました。大変感謝申し上げる次第です。先輩の方々におかれましては今後もご健勝にて、益々活躍され、後輩生徒のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

母校ホームページ開設中

インターネットによる岩手高校のホームページが開設されております。今後も様々な情報を紹介してまいりますのでご期待ください。

アドレス　http://www.iwate-jh.ed.jp/

スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影
フォトMORIOKA
池ノ谷　忠正
材木町信用金庫向　TEL(622)7457

懐石料理とわんこそばの店
初駒（はつこま）
盛岡市八幡町10-21　電話 019-651-7184
（盛岡八幡宮前）

特定建設業
株式会社　下河原組
代表取締役会長　下河原善嗣郎（新5回生）
代表取締役社長　下河原　大希（新36回生）
〒020-0403
岩手県盛岡市乙部4地割6番地1
TEL 696-2255(代)
FAX 696-2360